令和７年３月３日

保護者　様

名古屋市立萩山中学校長
山内　俊一

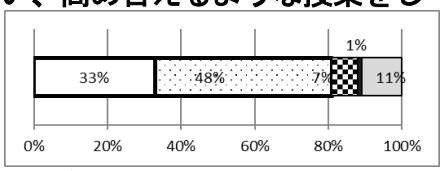
萩山中の１年間を振り返って

～本校の教育活動に関する保護者アンケートの結果～

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

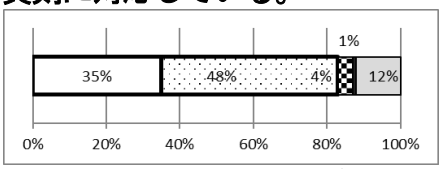
さて、１月に実施しました保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。結果がまとまりましたのでお知らせします。グラフは、左から「Ａよく当てはまる」「Ｂやや当てはまる」「Ｃあまり当てはまらない」「Ｄ当てはまらない」「Ｅわからない」になります。

【設問１】学校は、授業や指導方法を工夫し、生徒が互いに学び合い、高め合えるような授業をしようと取り組んでいる。



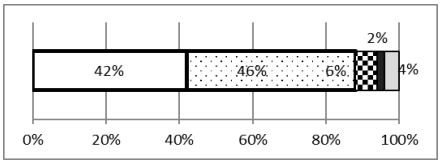
学校努力点テーマを「学び合い　高め合い～自他との関わり合いを大切にする生徒の育成～」と設定して１年目の今年度は、自分と他者、両方の思いや考えを表現したり、受け止めたりする関わり合いに重点を置きました。今後は、ＩＣＴ機器を活用して関わり合う場面を増やすと共に、親しい親しくないに関わらず、生徒同士や教職員と関わり合う機会を大切にし、その機会を通して、学び合い、高め合うことで、主体的な生徒の育成に向けた取り組みをさらに進めていきます。

【設問２】学校は、生徒をよく理解し、いじめのない学校を目指し真剣に対応している。



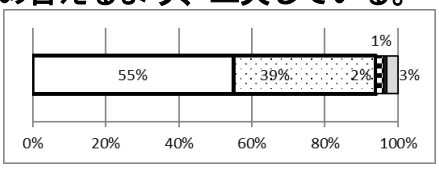
「萩山中学校いじめ防止基本方針」を策定し、全教職員でいじめ防止に努めています。「学校生活アンケート」やＷＥＢＱＵを活用すると共に、学校生活すべての場において、生徒をきめ細かく見守り、いじめの早期発見を心掛けています。日常的な観察と教育相談等の面談、学び合い高め合いノートの活用などを計画的に行っています。また、自他との関わり合いを大切にする中で、「いじめは絶対に許さない」ということが、当たり前になるような雰囲気をつくるよう努めています。それでも、万が一発見した際には、いじめ防止基本方針に則り、取り組みを行っていきます。毎月設定している「萩山中ＩＮＧの日」を集会等でさらに意識できるようにしていきます。（ＩＮＧ…いじめをしない、させない、許さない学校づくり）

【設問３】学校は、保護者の疑問や相談に適切に対応している。



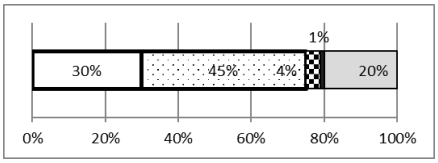
学校は一人一人の成長を願って指導をしています。生徒の健全育成のためには、生徒・保護者・学校が三位一体となって前向きな関わり合いを進めていくことが大切だと考えます。その中で、保護者の皆様と学校双方の温かさと厳しさが必要だと考えています。保護者の皆様と力を合わせていく上で、電話でお話するだけでなく、直接対面でお話をする機会を設けることも大切だと考えています。また、今年度も保護者の皆様とスクールカウンセラーとの面談が数多く行われました。今後も、お気付きの事柄やご質問等、ささいなことでも担任や学校、スクールカウンセラーまでお気軽にご相談ください。

【設問４】学校は、特色ある学校・学年行事（体育大会、音楽会、修学旅行、稲武野外学習、校外学習など）を通して、感動や友情を分かち合い、互いに認め合えるよう、工夫している。



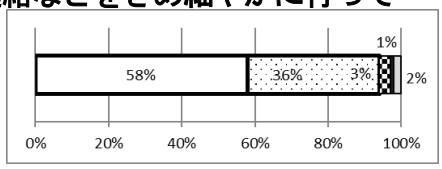
今年度もコロナ禍前に行ってきたことと、コロナ禍に工夫を凝らして行ってきたことの双方のよさを検討して行いました。生徒の活躍する姿を保護者の皆様に見ていただきたいという思いをもちつつ、気候、感染症対策、生徒指導面等の検討を重ねていることにご理解・ご協力いただけているとアンケート結果を見て大変うれしく思います。今後も、仲間を応援したり、仲間と協力したりすることで感動を味わえるよう、行事の行い方を工夫し、多くの生徒が活躍し、生き生きと学校生活を送れるようにしていきます。（裏面もご覧ください）

【設問５】学校は、緊急災害時の対応や危険箇所の補修など、安全対策をしっかり行っている。



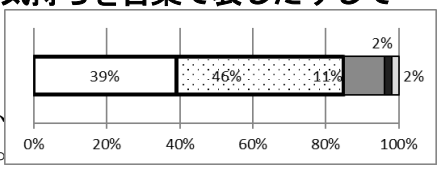
本校では、月に１度、校内安全点検日を設け、校内に危険な箇所がないか、全職員で点検、修繕しています。また、今年度も、年２回の避難訓練と年１回の引き渡し訓練を行いました。昨年度同様、避難訓練のうち１度は日にちのみを伝え、時間は抜き打ちで実施しました。近年日本各地で自然災害が起こり、南海トラフ地震がいつ起こるかも分からない状況が続いています。いつ我が身に起こるか分からない自然災害や緊急時の対応の準備に、真剣に関わり合って取り組み、生徒の健康・安全を第一に考え、様々な活動を行っていきます。

【設問６】学校は、保護者会、授業参観、学年だより、欠席時の連絡などをきめ細やかに行っている。



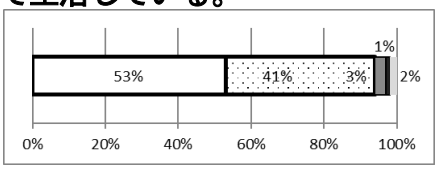
学校開放日や保護者会など、保護者の皆様に学校へ来ていただいて実際に見たり聞いたりする機会を大切にし、実施しました。また、宿泊行事と進路に関する説明会においては、不備等双方に困ることがないようにするために、YouTubeで配信する試みも継続しています。今後も、月１回の学年だよりや保健だよりなどで、学校・学年・学級の様子をお伝えしていきたいと思います。来年度も授業参観や学校行事等に足をお運びいただき、生徒の生き生きと活動する様子をご覧いただきたいと思います。また、欠席時の連絡は、タブレットや電話連絡を活用しての持ち物連絡等、よりスムーズな形でやりとりができるように進めていきます。

【設問７】子どもは、家庭や学校で元気よく挨拶をしたり、感謝の気持ちを言葉で表したりしている。



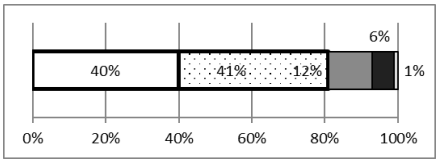
学校全体で挨拶運動に継続的に取り組んでいます。また、地域の方々・ＰＴＡ・係生徒による働き掛けも行っています。しかし、「Ｃ」「Ｄ」が合わせて13％であることは課題とも考えています。今後、挨拶は自分から、という意識を向上させ、関わり合いの第一歩である挨拶の大切さを理解した上で、どこでも誰に対しても、挨拶と「ありがとう」「ごめんなさい」が自分から気持ちよく言えるように指導を進めていきます。「挨拶すると気持ちいい」「挨拶されてうれしかった」「ありがとうが言えて（を言われて）心が温かくなった」等の経験を数多く味わえるようにしていきます。挨拶を通じた温かく前向きな自他との関わり合いを今後さらに大切にしていきたいです。挨拶であふれる萩山中学校を目指します。

【設問８】子どもは、学校のきまりや社会のルール・マナーを守って生活している。



学校のルールや校則を守ることは、安全で快適な社会生活を送る基盤となります。生徒の心に響くよう、時には厳しく指導を進めています。厳しさの中にも必ず温かさと生徒の成長を願う気持ちを込めた関わり合いを大切にしていることをご理解ください。今年度も、生徒の意見を基に校則の改訂を行いました。今後は、改訂した後に振り返り、更によりよい改善をしたり、時には元に戻すことも視野に入れたりと、生徒が主体となって、よりよい学校の基盤づくりをしていきたいと思います。

【設問９】子どもは、学校に行くことを楽しみにしている。



生徒や保護者の皆様の結果は「Ａ」「Ｂ」と回答した割合が８割を超え、昨年度よりは改善傾向にありますが、２割近くが「Ｃ」「Ｄ」との回答であることは見逃すことはできません。人と人との関わり合いから新しい気付きがあったり、発想をもったり、問題を解決したりして、学校生活が充実し、楽しいと思える割合が増えていくことを願っています。生徒はご家庭で、主体的に話をすることが難しい年頃だと思いますので、保護者の方から声を掛けていただき、前向きな気持ちになるように応援していただけたらと思います。生徒も教職員も、楽しく笑顔で過ごすことができる萩山中学校を目指します。

学校教育全般について、ご意見やご感想などをいただき、ありがとうございました。今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。